



①《中空土偶》縄文時代後期 函館市教育委員会／②《クマ付き骨角器》続縄文時代前期 文化庁／  
③《牙製女性像》オホーツク文化期 道立北方民族博物館／④木喰《地藏菩薩像》松前文化期 八雲町、法蔵寺

# 北海道

# 謎

# の彫刻史

北海道美術の草創期から近世にいたるさまざまな彫刻や造形物をたどってみると、そこには興味深い作品が数多く出現して驚かされます。

《中空土偶》をはじめとする縄文時代のさまざまな土偶たち。また、続縄文時代に生まれたクマをテーマにした造形の数々。またオホーツク文化期にも出現したクマの造形や、不思議な《牙製女性像》など。さらに円空や木喰など、近世の蝦夷地に渡って来た造仏聖が遺したユニークな仏像。もちろんアイヌの人々がみごとな彫刻を施したイクパスイという祭具なども膨大につくられました。しかしこれらの造形にはわからないことも多く、多くの謎を秘めています。

本講座では、これまでにあまり彫刻として語られることのなかった近代以前の造形を遡りながら、そこにくり広げられた作品の魅力とその謎に光を当て、美術としての北の造形の奥深さを探ります。

## 講師：佐藤友哉

(美術評論家、前札幌芸術の森美術館館長)



1952年釧路市生まれ。北海道教育大学札幌分校卒業。1977年に北海道立近代美術館学芸員となり、1985年、北海道立旭川美術館学芸員、2002年、北海道立近代美術館学芸副館長を経て、2012年、札幌芸術の森美術館館長。2022年退職し、美術評論家として現在に至る。2024年、令和6年度北海道文化奨励賞受賞。北海道芸術学会会長。旭川市中原啓二郎賞選考委員。本郷新記念札幌彫刻賞選考委員。著書に『評論集「北の美術の箱舟」(中西出版、2023年)など。』

## 3月15日

日時：2025年 3月15日(土) 10:30～12:00 (開場10:00)

会場：SCARTSコート (札幌市民交流プラザ1階)

札幌市中央区北1条西1丁目(地下鉄大通駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結。徒歩2分)

料金：500円 (当日、会場でお支払いください。) ●定員：60人 (事前申込制)

申込方法：2月21日(金)より電話受付 (先着順)

011-642-5709 受付時間10:00～17:00 月曜日休館

主催：本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団) 共催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

**録画オンライン配信** 当日会場にお越しいただけなくても、講座を記録した動画をオンラインで配信期間中いつでもご覧いただけます。

●配信期間：2025年3月20日(木)10:00～4月3日(木)12:00

●料金：500円 ●申込方法：右記URLから2月21日(金)10:00より申込開始。https://chobi20250315.peatix.com

※講座当日の同時配信ではありませんのでご注意ください。※申込にはPeatixの会員登録が必要です。※3月29日(土)17:00まで申込可能です。

